

平成 24 年 1 月 12 日

各 位

東京都中央区日本橋二丁目 15 番 3 号
株 式 会 社 エ ス プ ー ル
代表取締役会長兼社長 浦 上 壮 平
(コード番号: 2471)

問い合わせ先:
取締役管理本部担当 佐 藤 英 朗
電話番号 03 (3517) 6633 (代表)

「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は、本日発表の平成 23 年 11 月期決算短信において、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社グループは、平成 21 年 11 月期より 2 期連続して営業損失、経常損失及び当期純損失を計上し、営業活動によるキャッシュ・フローも 2 期連続してマイナスとなりました。また、平成 22 年 11 月期において減損損失等の多額の特別損失を計上したことにより、平成 22 年 11 月末において 33,913 千円の債務超過となっておりました。これらの状況に加え、平成 23 年 3 月の東日本大震災により、上記状況を解消するための事業計画に重要な不確実性が認められたため、平成 23 年 11 月期第 1 四半期から平成 23 年 11 月期第 3 四半期まで、継続企業の前提に関する注記を記載しておりました。

当社グループでは、当該状況を解消するために、収益力の回復に努めて参りました。収益化の見込めない不採算事業から撤退したほか、営業損失が大きく膨らんでいたシステム事業についても事業改革を断行し、大幅なコスト削減を実現しました。これらの施策に加え、懸念していた東日本大震災の影響が限定的であったため、平成 23 年 11 月期では営業損益及び営業キャッシュ・フローの黒字化を達成しました。

また、資本増強のために子会社株式等の資産売却を進めた結果、平成 23 年 11 月期の当期純利益は 207,468 千円となり、期末時点の純資産は 173,337 千円、自己資本比率は 15.8%にまで回復しております。

以上より、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が解消されたと判断し、平成 23 年 11 月期決算短信において当該注記を解消することといたしました。

以 上